

海原を我が庭とする家

日常から心を解き放つ自由な時間

家族が一番多くの時間を過ごすリビングは、海に浮かぶかのごとき空間を創り出した。天然木の床と天井は、長年海風に耐えてきた船室を想起させ、そこに居る人に“守られている”という安堵を感じさせ、心と体を自由に遊ばせてくれる。2方向にしつらえた開口部は、海岸線を異なる角度から見せて、例えば嵐の夜など、時に孤独になる海の景色に、人の営みとそのぬくもりを添える。

HOP

Housing Operation Project Group